





深 平成23年高浜町成人式

◆新年のご挨拶 ······ 2ページ

◆12月定例会 質疑・討論・採決 ······· 3~4ページ

◆一般質問 …………… 5~11ページ

◆委員会他報告 ……………… 12~15ページ

◆議会の動き・編集後記 ······ 16ページ

新年明

でけ

ŧ

とう

20

7.

40

ます

12月定例議会は7日から20日までの14日間の日程で開かれました。 今定例会では、以下の議案を審議、採決しました。主な内容は、

- ◆一般会計補正予算では青郷公民館の敷地の一部(借地)を買収します。また平成23年7月開始のテレ ビのデジタル化に伴い、公共施設のテレビも対応します。さらに高浜中学校普通教室にエアコンを設 置するための設計費を計上しました。
- ◆地方自治法の規定により、平成23年度から向こう10年間の町づくりのための「高浜町総合計画基本 構想」を可決しました。

について

診療所特別会計補正予算 (第1号)

平成22年度高浜町国民健康保険

議案第58号

【全員賛成で可決】

いて

会計補正予算

(第2号) について

【全員賛成で可決】

平成22年度高浜町介護保険特別

|議案第59号

【全員賛成で可決】

◆2つの基金を行政推移に則り廃止します。 その他、委員会質疑をご覧ください。

■議案第6号

いて 特別会計補正予算(第1号)につ 特別会計補正予算(第1号)につ 平成22年度高浜町集落排水事業

【全員賛成で可決】

12月定例議会開会

が行われているように感じるのは私ばかりでは求められているにも関わらず、国民不在の政治打開策を国民に示きないままであります。国民行いるい多くの課題を先送り、野党においても何の場策」など、解決に努力していかなければなら の内部抗争に終始し、 権の政治」と謳ってきた政権与党も、 昨年は"政治とは" 皆様方には平成23年の新春をご健勝の 「老後の安心」「財政危機」「景気の高 一クリ たこと、 「国家安全保障」 国民あげて考えさ ンな政治」 Ü から と生活に密着 お 国民不在 国民主 慶びを申 う ち

管理」

られる年でした。

お迎えになられ し上げます。

まし

昨年12月議会には、理事者から、人した行政が求められております。 「経済対策」「福祉環境」とい地方における政治は待ったなしのい されました。将来の子どもたちや高齢者の皆高浜町総合計画基本構想が提案され、可決承昨年12月議会には、理事者から、今後10年間 可 10

ます。

な

いでしょう。

めなければなり[†] 結びに、今年一年、皆様にとって民の皆様の負託に応えてまいります。 議会としても、 安心して生きが しっかりと議論を尽く 皆様にとって充実し 11 うご祈念申し上げ、 が持てる町づ 新年 た喜 に 町 努

副議長 勝本 繁昭

旧年中は、皆様方には の申し上げます。 本町 の議会運営に格別 か に新春をお迎えのことと お別のご理解と

TPP問題等々と深刻な問題が山積している現 状で在ります。 国においては、 協力を賜り、 昨年は、 厚くお礼 尖閣諸島問題、 課題山 積 0) 一年であ 北方領

重視して在り で在り で在り おり 会に全力を挙げて取り組んで参り携を取りながら、開かれた議会、 た、意気込みで議会も住民の皆様方と連 の事柄があ 「自分達のまち ります のことは自分達で決める」 今年は、 信頼される議

密着

長 濱 田

守好

のご挨拶といたします。び多い年となりますよう

住民自治を 土問題、

結びに、 住民皆様方の 新春のご挨拶といたします ご健勝とご多幸をご

井ノ上菅雄

住所

職業 農業 年齢

■議案第8号

新たに生じた土地の確認につ

について 事業特別会計補正予算 (第1号) 議案第62号 平成22年度高浜町公有水面埋立

予算

(第4号)

について

【全員賛成で可決】

■議案第55号

(())

0

平成22年度高浜町一般会計補正

【全員賛成で可決】

議案第69号

【全員賛成で可決】

特別会計補正予算(第1号)につ 平成22年度高浜町国民宿舎事業

請願第2号

字の区域の設定について

【全員賛成で可決】

E P A · F T

A推進路線の見直

特別会計補正予算(第2号)につ

平成22年度高浜町国民健康保険

議案第63号

三議案第57号

7

【全員賛成で可決】

しを求める意見書の提出を求める

会計補正予算 平成22年度高浜町水道事業特別 議案第64号 (第2号) について

【全員賛成で可決】

提出を求める請願

保育制度改革に関する意見書の

-請願第5号

【継続審査】

議案第65号

金条例を廃止する条例について 高浜町肢体不自由児援助事業基

請願第6号

【継続審査】

【全員賛成で可決】

TPPの参加に反対する意見書

【継続審査】

する条例につい 土地開発基金条例を廃止 7

【全員賛成で可決】

ついて 業特別会計補正予算(第2号)に

【全員賛成で可決】

平成22年度高浜町公共下水道事

高浜町

議案第66号

議案第60号

議案第67号

高浜町総合計画基本構想の策定

【賛成多数で可決】

について



きが 子生無職 住所 職業 年齢 68歳

議員

清常

光洋

住所 職業 年齢

東三松 会社社長 60歳

議員

深井

久則

職業 年齢

鎌倉 会社員 50歳

井ノ元康夫

議員

新しい議員を 紹介します

22年8月の補欠選挙で

第105号議会だより

本会議質

議案第56号

踏まえて予算化されたことと思う。 ついて問う。 今後の小学校も含めた設置計画に 予算計上された。議会での議論も 普通教室への冷房設置の設計費が 小幡憲仁 議員…高浜中学校

学校については、財政状況も踏ま学に冷房を設置予定である。他の えつつ早急に設置したい。 教育長…平成23年度に高浜中

寄付を原資に設立された基金であには異論はないが、当初、町民の 篤志を統合する基金条例に条文と る。当時の障害児に対する町民の して反映できないか。 小幡憲仁 議員…基金の統合

できないか検討したい。 総務課長…条例の条文に反映

本会議討

2割ほど減っているのが現状であ

議案第67号

「高浜町総合計画基本構想の策定 について」

反対討論

物質が対象であり、簡単に携われ りは共生できない。 ない。従って、原子力とまちづく 成というが、放射能という特殊な 能性がある。また、関連産業の育襲来とともに大地震が発生する可 まち」を掲げている。原子力発電 子力と共生し、関連産業を育てる 標を設定している。その中に は未だ未完成技術であり、地震の 「基本構想」では5つの基本目 「原

賛成討論

○ 粟野 明雄

狭湾沿いの同じ環境の市町村は、あるから増えないのではなく、若 況になっている。人口も原子力が は原子力なくして成り立たない状る討論があったが、高浜町の経済 原子力と共生することを反対す

> 計画するのは当然である。 浜町民にも出来ないはずはない。 今後とも原子力と共生することを ナンス事業も、

◎的場 輝夫 議員

まれるよう今後努力される事を信けようとの熱意が、町民全体に生病されていると判断するが、町民用し、的確な基本構想の内容に修用し、的確な基本構想の内容に修 ング委員会」等、様々な手法を活内ワーキング委員会・策定ワーキアンケート・職員アンケート・庁 じ賛成とする。 今までには見られなかった「住民 総合計画基本構想については、

構想であるが時代の変化に対応で 計画であることを強く要望して賛 住民の意見を集約して柔軟な総合 きるよう実施計画においては広く 今後10年にわたる高浜町の基本

ることで2割ほど増えた。メンテ る。高浜町は、原子力を受け入れ 同じ人間である高

平成22年 町議会臨時会 第6回 ① 月 月 高浜

び特別職の諸手当を減額改正 部を改正する条例について 職員の給与に関する条例等の一 人事院勧告を受け、 議案第53号 高浜町一般職の 一般職およ

【賛成多数で可決】

行政無線・告知放送システムの 地震、土砂災害等における防災 基盤整備工事請負契約について 高浜町情報通信

【全員賛成で可決】

業」により県が事業主体となり 地域再生計画「港整備交付金事 進められてきた本事業の見直し 変更にかかる答申について による、縮小(14、531・ における公有水面埋立地の用途 ■議案第55号 内浦港港湾区域 8㎡減) に伴い用途変更

【賛成多数で可決】

200

磯 武 史

教室にエアコンを

校の普通教室にエアコンを導入し、

を踏まえ、来年度にまず高浜中学

答弁 来年9月に高浜中学校から

いう声が多く届いた。 一般教室にもエアコンをと 9月になっても猛暑が続き

浜町、敦賀市では中学校に設置済 みである。 おおい町は、全ての教室に。美

℃であることとある。 く、もっとも望ましいのは25~8 文科省の学校環境衛生の基準で 30℃以下であることが望まし

入を検討してはどうか。 ための設計費が盛り込まれた。 高浜中学校にエアコンを設置する えたところ、今回の補正予算に、 併せてミストシャワーなどの導 町長に粘り強くその必要性を訴

環境の確保に大いに頭を悩ませて 教室や屋外での良好な学習 教育長

ンのある特別教室の活用など、 扇風機、日蔭用テント、エアコ 様々

> な暑さ対策を講じてきた。 学校現場や保護者との意見交換

今後もこの問題を、最優先課題

として取り組んでいく。 順次計画的に進めていきたい。

◆農林水産対策室の設置はいつか

過去の一般質問で、秋ごろ

答弁があった。 農林水産対策室を設置するというにはまちづくり課の中に、

括した「室」になるのか。 っているのか。 また、ハード、ソフト部門を統 未だ、動きが見えないがどうな

率を高める必要性を感じている。 ード感に欠けた対応がみられ、効重複した説明を求めるなど、スピ フトそれぞれの課員が、事業者に農林水産部門では、ハード、ソ に対する検証を行っている。 来年4月に、機構改革のマイナ 現在全ての課で、機構改革 副町長

1

横 田 則 孝

0

鳥獣害対策について 当初予算の編成方針と 最小の経費で最大の効果を挙げる

問う。 玉となる政策事業について 当初予算編成に当たり、目

られるのかを的確に捉え町民のニ 町民の皆さんが今、 応し限られた財源の中でメリハリ をつけた予算配分が必要と考える。 業に対しては柔軟かつ積極的に対 全化を常に念頭におき、必要な事 - ズに合った政策を打ち出すべき。 予算編成に当たっては財政の健 何を求めてお

を見直し、職員一人ひとりがコス 最大の効果を挙げる』ことを念頭 等の懇談の中から出てきた、現場 ト意識を持って取り組む。 に規定されている『最小の経費で り対応する。今一度、地方自治法 での課題や要望に対して可能な限 「集落座談会」や各種団体 既存事業の効果や必要性

> ◆獣害被害が増える一方である 駆除に力を入れるべき。

駆除隊の増員に力を入れる。 まちづくり課長

狩猟免許取得にかかる経費を助成 し負担軽減を図る。

ついて問う。 低炭素社会への取り組みに

デル地域を選定し低炭素化会社の に取り組んでみてはどうか。 自然を生かした特色ある町づくり 検討会を立ち上げ、嶺南西部でモ どの導入・普及の対策を探る調査 も県との連携を深めながら豊かな まちづくりを目指している。 目指し太陽光発電や電気自動車な 21世紀は環境の時代だと言われて いる。県は低炭素化社会の実現を 本町

推進、里山整備など伝統的手法で ら具体化に取り組みたい。あるローテク技術も織り交ぜなが ビレッジ化を考える。木造建築の 構想の中にエコロジーの要素を盛 り込み高浜のエコタウン化、エコ の具体化に取り組んでいる。この シティー構想」や「青の里構想」 当町では「高浜コンパクト

月臨時議会

を引きだす役割である。

-は、元々町が持っている素材



深 井 久 則

実績の差は何かおおい町との駆除 除て

占 ①狩猟免許取得のための ものと思う。 猟師の人員数の差が出た

答弁

③鳥獣害対策での里山整備的な事 ②鳥獣害対策の予算はいくらか 業はあるのか。 策はあるのか。

②平成22年度は総額約1千6百万 金を計上したい。 の取得及び更新に対して、 ①来年度予算で、 狩猟免許

算、精査中。骨格が出来た段階

町長

③林家の方々が、 協議を進め被害対策を講じる。 荒廃を招いている。関係機関と で、就業意欲が減衰し、林地の 鹿の樹皮被害等

を計上した。

不足する捕獲檻製作事業費

本定例会12月補正予算

◆コンパクトシティ、青の里 脇坂公園構想の関連質問

②各構想実現のための費用は、積 ①構想は何年で実施できる

④各種イベント及び構想の立案企 ③脇坂公園の事業内容と費用は。 び役場が主体に行ったらどうか 画は外部委託に頼らず、町民及 算出来ているのか。

②コンパクトシティの費用は、積 きない。 問題も有り、 ⑤も有り、現段階では明言で①実施時期は財源調整等の

③事業内容は自然環境を活用した 性等を考え、今年度末までにまプログラムの事業運営及び採算 順次積算をする。 業の計画策定されたものから、 で公表。青の里については各事

④主体は町民、役場等で行ってい は外部に委託している。 とめる。費用は概算5~7億円 る。ただ専門的分野のサポー



井ノ元康夫

音海避難道について舞鶴野原港高浜線と

強い要望が重要である。 ことは承知しているが、町からの 緩和されたが、生活住民のための 校の統廃合により通学の危険性は ある。 歩道整備、舞鶴市野原への延伸。 これらについては県工事である 現状と展望について見解を問う 危険なカーブの直進化、学 舞鶴野原港高浜線の改良工 いくつかの課題が

る。 ながら、 会・行政・関係機関と調整を図り は充分認識している。県に対し議 た道路である。町としても重要性 区において最も日常生活に密着し 舞鶴野原港高浜線は内浦地 建設整備課長 粘り強く要望を重ねてい

遅れている。当面県内側の急カー ブなどの問題のある個所について あり、京都府側の整備は、 しかし府・県をまたがる路線で かなり

> 備を順次進めている。 優先順位の高いところから改良整

の設計調査の予算がついたと聞く 子力災害時における避難道 音海地区の要望である、原 進捗状況について問う。 建設整備課長

を、国・県に強く要望している。 化によるバイパス道路の新設整備 避難道路としての機能を有する必 要がある。 においては、唯一の避難道であり 原子力発電所が立地し、音海地区 音海中津海の沿線には高浜 田ノ浦地係のトンネル

ができて避難時混雑しない音海地区に発電所の駐車場 行うよう要請を続ける。 業務を発注し調査検討中であり、

県においては、既にルー

· ト 設計

国に対しても積極的な財政支援を

高浜町防災計画原子力編の通りで ないため、 場にもどって駐車場からの避難は また原子力災害時の避難要領は 発電所に従事の方が、 総務課長 混雑の心配はない

共生交付金」の活用について「原子力発電施設立地地域

清

洋

て町と県の事業を問う。 される「共生交付金」の活用につい 交付金」と、30年超えの原発に交付 付される「核燃料サイクルブルサー、ノニー

の本質につ

(まちおこし・まちづく

局 浜 白 宣言

浜町が進めている「高浜エコタウン構 及び青の里・脇坂整備事業を予定 を充当する予定をしている。「共生城山公園整備事業に9億2千万円 想」を県営の関連事業として実施 している。県事業については、現在高 いては「コンパクトシティ関連事業」 交付金」は県内 4ヶ所の原発立地 新事業に9億円、城山荘を含めた設整備事業と清掃センター設備更 万が交付される。この事業計画につ 43億円で高浜町へは10億7500 付され、立地市町への配分は総額で 市町を対象に県へ100億円が交 事業に5億8千万円、下水処理施 浜町へ配分され防災行政無線整備億円が交付され、その内24億円が高 「サイクル交付金」は県へ60

起因しているのではないか。

の盛り上がり、熱意ではないのが

この事は「白宣言」が町民から

うじ」の事かと言う人もいる。

町民の間では「白」とは「浜そ

で行動を起こそうと言われる。

宣言」をスローガンに、気持ちを 一度リセットし「まっ白な気持」

の発想をきっかけとし「高浜白

生こ 新し、 い町づくりの推

いうものである。 従来にない手法で行うと 町民主体のまちづくりを

進に当り、外部アドバイザ



勝 本 繁 昭

町内行事の日程調整は 段階的に集約

1 の見直しは。 催しされているが行事日程 年間町内それぞれの行事が

一副町長

約を求める内容のご意見を聞いて 民の方から、イベントの充実と集 集約と見直しを図っていく。 いるので平成23年度より段階的に

答弁 各集落の総意と体制

地域団体等があるのか、また、こ 望がなされている町内の農業者や 業を利用して、ネット柵の陳情要 推進事業、ネット柵の整備支援が 再三繰り返している。この整備事 道路にも頻繁に出没し交通災害を なされることとなった。獣が街の 算で鳥獣害のない里づくり

の制度を行政として取り組む姿勢

いかもしれないが、外部アドバイづくり」の手法であり、判りにく

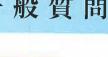
「白宣言」は新しい「まち

達も必要と思われるが、なされてはあるのか、各地域への情報の伝 いるのか問う。

2団体より要望を頂いている。ネネット柵についての要望は町内の査に取組たいと考えている。この 谷筋等の一斉整備(集団化)これ西地域内進入柵の二重整備の禁止、内の地元負担の了解、ネット柵設トル当たり5千円基準、1/3以 解、管理の問題など、各集落の総不可欠であるので、地元負担の理果が発揮できる体制づくりが必要 事業申請を受け付ける時にも照会 合長会議や営農座談会等、 たいと考えている。また、農家組 県担当者とともに指導・相談を進 意と体制整備が構築されるよう、 めながら、積極的な支援を実施し ット設置にあたっては、最大の効 ネット柵の整備についての要望調 らの要件等整理・検討する上で、 の緩衝帯の整備、整備単価1メー 集落ぐるみによる管理体制、 この事業の採択要件として あらゆ

第105号議会だより

「青の郷構想」の中で考え





小 幡 憲 仁

町の対応は 答弁 協議を始める次年度に国や関係機関と

針が延長された。今後の高浜病院 る方針が一転、従来の整理売却方 に対する町の動きを問う。 果で国有病院として存続す 高浜病院は参議院選後の結

老人保健施設等介護福祉施設の整 関係機関との協議を行う必要があ 備や在宅サービスの充実に向けた の経営形態について次年度に国や の提言も踏まえ、高浜病院の今後域医療推進合同会議」の最終報告 を委託で調査している。 現在、 医師等の安定的供給策 病院の経営上の課題 また、

▼下水道事業の今後について

高浜町の下水道事業は加入 補助金支給や性急な整備の

> 中、多額の一般会計からの補填が 口減少で使用料増加が見込めない 結果、多額の起債残高が残った。人 。今後の経営安定化策を問う。

据えた「下水道ビジョン」作成に 必要がある。 期間での整備と処理水の高度処理 地域格差を無くすため、短は「カー・デー・プラント」 の中で料金や会計処理を再考する 向けた検討業務を行っており、こ いる。現在、下水道の10年先を見いことから町財政に負担をかけて を行なった事と、下水道料金が低 水道課長

パパ育休について

場内のパパ育休取得実態と町内企 うなど制度の面は整備された。 業への奨励策を実施する考えはな いかを問う。 れ、氰モリシャリて……育児・介護休業法が改正さ J制度の面は整備された。役れ、高浜町も条例改正を行

要な事業である。 行っていないが、今後、検討が必町内企業にパパ育休の奨励施策は ているが父親の取得実績はない。 育休は申出者全員が取得

総務課長

多と

Ш 本 富

答弁 交付金35億円使途は? 取り組む。「エコ」をキーワ ドに

の使途について。 年度としての施策と交付金35億円 て問う。 丁೬・一平成23年度予算編成につ て問う。町長一期目の最終

途は22年度から27年度の事業に充 当する予定。 キーワードに取り組む。交付金使 道路整備、 沿った事業。雨天多目的体育館、 のエアコン設置などと「エコ」を 一次産業対策、 中学校

原子力特措法の10年延長を機に財 源充当できるよう関係機関への要 国・県はどのように取組む予定か 良について、 ンネル化)・県道野原港高浜線改 海中津線(音海バイパスト町道南山手線延伸、県道音 原子力避難道として

夫

建設整備課長

ず一般菜園を含め全町民あげた「こ 増加の一途である。農家のみなら H としての財政支援を国・県に対し 災体制の充実強化において避難道 に進める必要があるが如何か。 れなら出来る獣害対策」を徹底的 て引続き強く要請する考えである 整備がなされているが、 県道改良工事については順次改良 良整備はもっとも優先度が高い。 が低いが国道27号青葉トンネル改 多門院までの路線は事業化優先度 員会での調査では、 鳥獣害対策について特別委 南山手線延伸は舞鶴市側が 原子力防 被害は

ゆる機会に啓発を図っていく。 獲講習会の開催等を通じて、 ど充分なご理解と協力が必要。 るが、予防対策や捕獲後の処理な は、主にアライグマ・猿と思われ が定着できた。農家以外への対策 落は自分たちで守る」と言う考え いも34集落に及び「自分たちの集 りロケット花火、爆竹の追いはら 委員会で実施いただいた調査によ 集落毎の獣害被害の把握と まちづくり課長

◆低炭素社会モデル地域選定 について

る。高浜町の対応はどの様に考え高浜町のエコタウン計画と一致す地域にしようとしている。これは地域をモデル県は低炭素社会実現を目指 ているのか。

高浜町の蝶について

(その食草を守れ)

地域全体で配慮を

1= =1

粟

野

明

いか。

向を踏まえながら、進捗状況に合など、検討を始めている。県の動 わせて住民への広報・周知をして きたい。 総合特区制度の提案をする

注意を払うことで蝶が守れる。こ

の保護への対応を問う。

種に指定されている。その食草は

している。ギフチョウは絶滅危惧 サキを始め貴重な蝶が生息高浜田りり

高浜町には、国蝶オオムラ

カンアオイであり、草刈りの時に

問 メガソーラーの実現性は

。電力会社で取り組む。

ければならないことだと考える。

開発が生物体系に影響を及ぼすこ

な手段がないのが実態である。乱

| 条例で保護を定めても有効

とを、当町としても絶えず訴えな

食草となる植物や樹木の保護から

の配慮を示す以外の方法はない。

昌

蝶の保護は、

観光資源に

始めるのなら、

地域全体で自然へ

る必要があると思うが、見解を問いる必要があると思うが、見解を問いま IJ

多用することで環境に配慮したい 新しい庁舎には木の部分を

F

渡 邊 孝

答弁 創設について患者負担の減免制度 前向きに検討したい 0

ることである。高浜町の取り組みうことは「望ましい」と述べてい について問う。 り、市町村が自主的に上積みを行 基準は「最低限」を示すものであ 準を示した。大事なことは、この 所得者のための、減額・免除の基| 厚生労働省は、病院窓口で

どを踏まえ、一部負担金の減免に ついて前向きに検討したい。 下で実施している3市町の実状な 国が示した基準や内容、 住民課長

◆国保税の減額を

法定減額を受けている。もともと加入者の半数近く(48・4%)が 万円以下の世帯が75・8%を占め B 者の現状は、所得額200 高浜町国民健康保険の加入

> ぎる国保税を値下げすべきではな もこの7年間はゼロである。高す 会計への繰入(いわゆる赤字補填) に実施していた一般会計から国保 円もの積立金がある。また、過去 方で国保財政は、1億8900万 者など低所得者が対象である。 国保は、自営業者、高齢者、

税率は引き下げには至らないこと 負担額は県平均額であり、軽減措金の国保税の一人当たり 等により医療費も増加傾向にある る。さらに、昨今の医療の高度化 置もある。また益々高齢化も高ま 住民課長



談会・策定ワーキング委員会等相 当の町民や役場職員の参加により

①町民アンケー

ト・集落座

町長 ・ 副町長

を継続的におこなえる体制整備が

必要でないのか。

高浜・和田の4地区において地域

を機能させるには、内浦・青郷・ きでは。④マネジメントサイクル 連に限らず、幅広く誘致されるべ ③企業誘致の姿勢として、原発関 比率が3割程度では低すぎないか 政経営」の必要性を認識している ②役場職員アンケートでは、「行 結集されている内容といえるのか

に根ざした住民による点検・修正



西 出 秀 雄

どう守るのか? 町民の生命と財産を ハザードマップを活用

①わが町の気候変動、それに伴う が、多く発生している。近年ゲリラ豪雨や土砂災害 災害は。

②ハザードマップの活用と発令基 ものか。 準はゲリラ豪雨などを想定した

③河川流域に貯留浸透施設の設置 計画は。

④土砂災害の危険地域の確認と対 策計画は。

②洪水ハザードマップと津波、土 夜は増加、冬日は減少傾向 る。災害は近年発生してい ①気象台の観測は年平均 45度上昇、降雪量は減、 一総務課長 ない。 であ 熱帯

> ③雨水対策として、小規模な調整 池とバイパス管を新設し海に放

④土砂災害警戒区域と特別警戒区 検し防災情報を収集する。 会を開催した。危険な場所を点 域は365箇所指定。地元説明

◆子宮頸がん対策について

その後の検討は。 は今後検討すると答弁を聞いたが 問 がんワクチン接種費の助成 6月議会の質問で、子宮頸

保健課長

助成を予定している。 種費助成を実施予定。費用の90% ワクチン接種は平成23年度より接 Hibワクチン、小児用肺炎球菌 一子宮頸がんワクチン、



大学

町長

技術評価と長期保守管理方針を国 し町民に分り易い説明を求めて の取り組み状況は国・事業者に対 れるものと認識している。これら に申請し厳正な審査を経て認可さ の継続運転を望む場合、

手法は ①トップマネジメントを実行する における監査は ④町民ニーズの情報収集は ②システムマネジメント ③今までの成果

対策は!高浜原発の高経年化

の場を設けていく。

関西電力が高浜一・二号機 高経年化

田 康 信

| ①新総合計画基本構想の実

池

認識している。 正審査の結果認可されるものと 答弁 関西電力が国に申請し厳

する。今後の考え方を問う。 ている。確実にリプレースは到来 年経過し高経年化を向かえ高浜発電所も運転開始後36

政の展開について問う。 町民ニーズを満足させる町

0

ては今まで実施していない。町民 善を目指す。②行政運営システム のサイクルを取入行政の継続的改 実行(D)、検証(C)、改善(A) 向上を目指す。即ち計画(P)、 現要件の一つに「マネジメントサ ニーズの収集は住民と行政の対話 える。③、④各部門別の評価とし や内部監査制度の検討も必要と考 を着実に実行するために外部審査 イクル」を取り入れ住民満足度の

理解されているが、これら施設へ青の里構想の中での脇坂整備は 産の場を有害獣被害や少子高齢化 の中でキープできるよう町単独事 食材(農、漁等)が供給できる生 置づけは。

業の制度設計をすべきである

と考える。今後地域との意見交換 自の支援策を検討する必要がある の中で制度設計の具体化を進めて いきたい。 地域性を考慮した高浜町独

的なマップを、今年度作成、全

砂災害マップを合わせた、総合

災計画の基準に基づき発令する

配布を予定している。地域防

を積み「選択と集中」による「行 政経営」の浸透に努めたい。 策定に至っている。 ②今後研鑽

備はなかったのか。 鳥獣害被害等の対処策の調整に不 有地の貸付の際、周辺の農家への シルバー人材センターによ る果樹園開設にかかわる町

高浜町総合計画基本構想に

①この構想には町

新しき町つくりを目指す町民全員参加の協働により

結集し、

成し遂げよ

していきたい。

指摘の要素を含め、

今後検討

全町民の参加と英知を新総合計画は、

れている。

④先進事例を学びつ

指摘の要素も総合計画に組み込ま

的

場

夫

民の大多数のかかわりと、英知が

体育施設」の建設と併せ、九十歳向上に寄与する「雨天屋外高齢者の福祉・健康の維持 から、 かからぬよう努める事を条件にし 台の高齢者を含む利用となること 真摯に受け止め、責任ある対処をする て許可している。被害が生じれば のであり、当然周辺住民に迷惑の る事業展開を期待し、許可したも 町の雇用・特産品につなが まちづくり課長 移動手段の検討もされたい

策の総合的見直しの中で検討する し、移動手段は、各種の交通利便 施設は新年度内完成をめざ

特別委員会報告

委員長 小幡 憲仁

《審議事項》

◎付託案件の審査

■議案第56号 平成22年度高浜町 |般会計補正予算(第4号)

《補正予算の概要》

千円を追加する。 歳出それぞれ2億4、884万5 平成22年度一般会計予算に歳入

《審議の概要》

検討を行うものであるとの答弁が 題を把握し、来年度以降の予算化の 清掃を行なうもので、今回は試験的 に清掃し漂着物の実態調査や諸課 長100メートルにわたり漂着物の て質問があり、釈迦浜入口の和田マ 和田釈迦浜の海浜清掃事業に関し -ナ付近の海岸を幅7メー トル延

高浜中学校教室棟の1階から3階置設計委託料に関し質問があり、 ・高浜中学校の教室棟空調設備設

> との答弁があった。 の普通教室15室に冷房のみのクー -を設置する方向で検討している

あった。 による鑑定評価までは考えていない について言及があり、不動産鑑定士 ・土地開発基金の廃止に伴う基金の から一定の評価を行なうとの答弁が が、路線価、固定資産税評価額など 時価評価の差額等の確認の必要性 繰り入れに関し、土地の買収単価と

て検討するとのことである 点の答弁があった。ただし、和服来 今後も隔年での公演を視野に入れ ンボルとして期待できるものであり 観光振興面でも高浜町のひとつのシ 識の向上には大いに寄与しており 場者が多くあるなど、町民の文化意 いて、追加補填が必要となった理由 用や舞鶴市へのPR不足などの反省 の質問があり、プレイガイド等の活 ・松竹大歌舞伎公演開催補助金につ

【全員賛成で原案可決】

高浜町総合計画基本構想の 連合審査会報告 策定について

議案第67号

総務産業委員長

粟野

明雄

これは重要案件と言うことで、総 高浜町総合計画基本構想

連合審査となった。 務産業委員会と厚生文教委員会の

るのか。 将来的に町村合併は考えてい

ている。 答 検証段階であり、合併はないと考え 平成の合併が一段落し、現在は

答 コンパクトシティとの兼ね合いは 人の生活スタイルが変わった

べきだと考えている。 防止と、獣害問題を合わせて進める 中心街は新しいかたちで機能する ようにしたい。周辺部は里山の崩壊

たらないが、どうか。 公徳心とか人権の文字が見あ

る町の中に含んでいる。 必要がある。誰もが安心して暮らせ 今の実態に合わせ変えていく

農業、漁業は。

る町」の中に含んでいる。 「生き生きと働くことが出来

うするのか。 実施計画は誰が作り評価はど

報告していく。 り、議会に実施状況評価として

答 ンス業務を地元の企業へ、ということ を支援していく。 し関連産業を育てる町で、メンテナ なかった反省はある。原子力と共生 しい要素を入れるべきである。 原子力立地の優位性を生かせ

策定へのプロセスは。

果も踏まえ審議会で審議した。 談会の意見を反映。庁内会議の結 施。策定委員会を5回実施。集落座 2、000人のアンケー トを実

民の意見を十分に反映させる余地 めたものである。実施計画の中で住 があることを確認した。 とを含んでおり、大まかなことを決

【賛成多数で可決】

原子力を誘致して製造業が衰 行政が基本計画、実施計画を

この総合計画は、大きく全てのこ

総務産業

委員長 栗野 明雄

議案第60号

平成22年度高浜町公共下水道事 業特別会計補正予算(第2号)

議案第6号

退した。原子力に頼る町でなく、新

特別会計補正予算(第1号) 平成22年度高浜町集落排水事業

【全員賛成で可決】

議案第62号

立て事業特別会計補正予算(第1号) 【全員賛成で可決】

平成22年度高浜町国民宿舎事業 特別会計補正予算(第1号)

常任委員会報告

【全員賛成で可決】

平成22度年高浜町公有水面埋め

議案第63号

受信できることを確認した。 またデジタル化までにKBS京都が るためのチューナーの購入費である。 城山荘のテレビをデジタル受信す

【全員賛成で可決】

■議案第64号 平成22年度水道事業特別会計補 正予算(第2号)

【全員賛成で可決】

議案第65号

金条例を廃止する条例 高浜町肢体不自由児援助事業基

り入れるものである。 たものであるが、福祉事業資金に繰 を原資としたところからスター この基金は町民の10万円の寄付

【全員賛成で可決】

三議案第66号

する条例 高浜町土地開発基金条例を廃止

【全員賛成で可決】

■議案第8号・議案第8号

である。 を確認し字の区域を設定したもの 立事業が竣工したことにより、土地 この2議案は安土の公有水面埋

【全員賛成で可決】

件を、継続審査とした。 このほか、自由貿易協定の請願?

議案第55号

厚生文教

常任委員会報告

小幡

憲仁

会計補正予算(第2号) 平成22年度高浜町介護保険特別

環境が大切であり、選択肢を増や に最適な方法を選ぶことができる 施設で介護するか居宅で介護する めの調査であり、この調査結果を計 入れていくとの考え方が示された。 かは、介護を受ける本人とその家族 画に反映させたいとの答弁があった り、次期介護福祉計画見直しのた めの調査にならないかとの指摘があ 託について、居宅介護に誘導するた という意味で、居宅の面でも力を 日常生活圏域ニーズ調査業務委

【全員賛成で原案可決】

準地震動に対して安全性が確保さ

した陸域・海域の再調査の結果、基

原発の新耐震指針に基づき、徹底

■議案第58号

平成22年度高浜町国民健康保険

診療所特別会計補正予算(第1号)

現状について報告があった。

【全員賛成で原案可決】

ない、高額療養費は増加傾向にある

を確認。

旬に原子炉起動・調整運転、平成23 ついては、燃料装荷が終わり12月下 下旬まで)。3号機のプルサーマルに 号機は定期検査中(平成23年1月

1月下旬に本格運転に入る予定

して、病院の医療機器の進歩にとも

と理由について質問があり、一般論と

最近の高額療養費の伸びの傾向

議案第57号

付託案件の審査

平成22年度高浜町国民健康保険 特別会計補正予算(第2号)

保育制度に関する意見書の提出

性急に結論を出すことは適切では システム」についての認知度が低く

て巡回診療などに活用する車両を パの滅菌装置、それと、公用車とし

台購入するとの答弁があった。

【全員賛成で原案可決】

し質問があり、医療機器として、ポ

備品購入費686万7千

一円に関

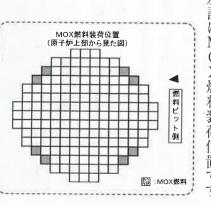
タブルエコーの更新、患者用スリッ

■請願第5号

を求める請願

ないとし継続審査扱いとした。 政府の進める「子ども・子育て新

を受けた。 れていることが確認されたとの説明 左記はMOX燃料装荷位置です 蒸料



②高速増殖炉「もんじゅ」の事故に ついて、「原子力研究開発機構」 より詳細説明

原子力対策 原子力対策

的場

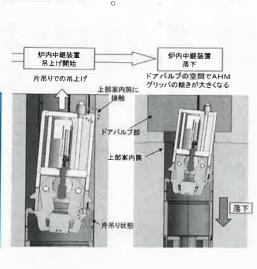
輝夫

経過の説明を受けた。 政策における位置づけ、これまでの もんじゅの現況、必要性、原子力

事業者より説明の後、意見交換。 高浜原子力発電所の現状報告

1・2・4号機は順調に稼動中、3

の詳細説明を受け、質疑を行った。 の引き上げに相当の期間が必要と 内中継装置が落下したが、その装置 作業中、約2メートル吊り上げた炉 左記は、つり上げ装置の状況です 8月26日、燃料交換の後片付け



AHMグリッパが 炉内中継装置を 正常につかんだ状態 要の条例改正。

【全議案とも全員賛成で可決】

家庭用燃料電池の普及に伴う所

若狭消防組合火災予防条例の一

議案第2号

組合一般職の給与を引き下げ。

【賛成多数で可決】

の給与引き下げに準じて、若狭消防

与に関する条例等の一部改正

人事院勧告に基づく国家公務員

若狭消防組合|般職の職員の給

可等に係る手数料。

特定屋外タンク貯蔵所等の設置

鳥獣害防止対策調査

を視察。 を実施していることが確認された を集落ぐるみで実践するなど、集落 (小浜ビーストキャッチ)の設置状況 又、小浜市においてはシカ捕獲わな で話し合いを重ねた結果防除対策 ケット花火を使用したサルの追払い 追払い等対策の現状を調査した。ロ 市で恒久柵の設置状況や管理方法 外視察として若狭町・滋賀県高島 ついての報告や意見を聴取した。管 当町における鳥獣害対策の状況に た。地区代表の農家組合長等から 係る被害の防止のための諸課題につ た事件「鳥獣による農林水産物に いての調査及び審議」について実施し 第3回臨時会において付託を受け 平成21年5月8日の高浜町議会

問調査を町内の全農業集落を対象 る必要から、当委員会委員による訪 域住民の考えなどを詳しく調査す か、町内における鳥獣害の実態や地 の開催を7回、現地視察を4回のほ 当委員会の活動としては、委員会

> 置がみられた。 策とし町の補助金支給により電気 柵の普及率は高く集団での共同設 対策の現状などの確認がされた。対 の住民の考えや意見、被害の実態 216人の住民参加があった。多く 訪問には、農家戸数の2割強の に4地域に分けて実施した。集落

鳥獣害対策の今後の課題 を確認。 支給により対策の効果があること サルの被害対策は深刻でロケット花

火・爆竹等の追払い隊に対する無償

有害鳥獣捕獲隊の増員(狩猟免許 耕作放棄地の適正管理 有害鳥獣駆除体制の拡充として 防除対策への経費支援 有害獣の追払い活動の徹底 集落ぐるみの防除対策の実施 捕獲技術の研究と関係者へ普及

設置の必要性 駆除対策への経費支援 おおい町・高浜町の連携した協議会 駆除した有害獣処分方法確立 取得者の増加)

事件について中間報告とします。 以上、当委員会で調査しました

地域医療対策 委員長 福永

換を行なった。 当課長の参加を得て、地域医療につ いて詳しく説明を受けた後、意見交 地域医療サポーターの役員、役場担 井階友貴和田診療所所長、高浜

費計画等の説明を受け、質疑を行 研究課題について、その目的・研究経 る主体的住民参画の効果の検討」の の地域医療・地域福祉の創造におけ 井階所長より、「安心・満足・信頼

地域医療サポータ より活動内



とした。 ■各委員会のテレビ放映について

り、継続して論議する事とした。 ることや、役場庁舎の移転課題もあ が見込まれ、人員の費用も必要とな の機材の調達に1、500万の費用 以外での放映については、放映のため を十分に行うべきであり本会議場 の放映状況について、その評価・分析 テレビ放映の拡大については、現在

■議員年金の動きについて

て、議長より説明を受けて後、論議 したが廃止やむなきが大勢であった。 議員年金制度の廃止の動きについ



広子 ■選挙費用の公費負担について 議会改革調査 議会改革調査

的場

輝夫

たな議会の構成が決まった後の課題 の意見が大勢であり、来年4月に新 事者との調整は時期尚早であると 深く、具体的精査が前提であり、理 公費負担については、議会自らの

容や課題について説明を受け、議会 としてどの様な側面支援が可能か、 意見交換を行なった。

若狭消防組合議会議場 議員

広域連合議会報告 福井県後期高齢者医療

濱田

●第2回定例会

若狭消防組合議会定例会の報告

《上程議案》

·場所 ·会期

議案第1号

·場所 ·会期

若狭消防組合議会議場

平成22年10月12日

第152回

若狭消防組合議会報告

消防議員 小幡

憲仁

若狭消防組合議会臨時会の報告

平成22年11月26日

●第153回

場所 福井県自治会館 平成22年11月24日

《審議事項》

般会計補正予算(第2号)

今年度の基準財政需要額の確定

平成22年度若狭消防組合議会

■第8号議案

■認定第1号 《上程議案》

平成21年度若狭消防組合1般会

計歳入歳出決算認定

歳入総額12億5、951万4千

、歳出総額12億4、399万5千

円を減額補正。

【賛成多数で可決】

件費の減額により、126万5千 職の職員の給与減額に伴う職員人 前年度繰越金の財源繰り入れ、一般 に伴う消防費分担金の減額補正と

> 橋本達也あわら市長を選任 副広域連合長の選任

第9号議案 監査委員の選任

第10号議案 嵐等越前市議会議長を選任

平成21年度一般会計·特別会計決

[一般会計決算] 算の認定

議案第一号

議案第2号

若狭消防組合手数料条例の一部

改正

円、歳入歳出差引額が、1、551

[特別会計決算] 支出済額 5億4、534万4千円 収入済額 6億926万3千円 6、350万4千円

減じたこと、委託費の減少、通知文 不要額発生原因は、職員1名が 支出済額 収入済額 902億8、581万5千円 62億2、508万7千円 875億4、275万1千円

> ンフルエンザの発生も予想より少な かったこと等に伴う療養給付費の減 配布することにしたことと、新型イ 書の郵送方法を、個人から世帯別に

■第□号議案 【全員異議なく認定】

一般会計補正予算

金返還金として9万円を返還する 383万円、および、医療制度補助 人とし、市町に対し返還金6、 追加補正 21年度決算における繰越金を歳 6、392万円

【全員異議なく採択】

第12号議案

特別会計補正予算

金等返還金が主な内容 金および、21年度療養給付費負担 療養給付費等準備基金への積立 追加補正 275億5、295万7千円

【全員異議なく採択】

第1号報告

の一部改正(専決) 勤務時間、休暇等に関する条例 職員の育児休業等に関する条例が

【全員異議なく承認】

第105号議会だより

競会の動き







9月26日	平成22年度和田地区敬老会
30⊟	若狭高浜観光協会夏期反省会
10月 3日	平成22年度高浜地区町民体育大会
3⊟	若狭消防組合発足40周年記念大会
12日	第152回若狭消防組合議会定例会
24日	第2回高浜町老人クラブ連合会スポーツ大会
25日	第7回原発立地議会サミットBブロック実行委員会
28⊟	知事への福井県議会議長会要望活動
29日	平成22年度主要地方道坂本高浜線整備促進期成同盟会総会
29日	2010年度部落解放 · 人権政策確立要求高浜町総決起集会
31日	平成22年度内浦地区敬老会
11月2日	平成22年度高浜町連合遺族会主催慰霊祭
6日	福井県原電所在地議会特別委員会連絡協議会要望活動(地域戦略室へ)
. 12日	おおい・高浜総合振興協議会
14日	青郷地区敬老会
25日	臨時会
26日	第153回若狭消防組合議会臨時会
12月 2日	若狭和田観光協会定期総会
7日	12月定例会

広報特別委員会

副委員長 委員長

的場 小 横田 渡邊 憲仁

的場

輝夫

気あふれ・心安まる故郷」で 故郷高浜が「誇り高く・活 あり続けるために、私達一 人・ひとりの汗と努力が求め

様と共に「10年後の我が町」 新たな年を迎え、町民の皆

編 集 後 記